

令和8年春の叙勲・褒章受章者

4月29日に叙勲受章者及び褒章受章者が発表され、以下の会員が栄に浴されました。
心よりお慶び申し上げます。

叙勲受章者の横顔



旭日中綬章（弁理士業務功労）

い たみ まさる
伊 丹 勝

学歴・職歴

昭和54年 明治大学工学部電気工学科卒業
昭和54年～昭和57年 リズム時計工業株式会社勤務
昭和57年～昭和63年 鈴江内外国特許事務所勤務
平成2年 伊丹国際特許事務所設立
平成11年 きさらぎ国際特許事務所設立
（現在） 弁理士法人きさらぎ国際特許事務所

弁理士会歴

昭和60年 弁理士登録（9282）
平成5年度～平成6年度 特許委員会 副委員長
平成7年度 常議員会第一委員会 副委員長
平成7年度～平成8年度 弁理士会常議員
平成9年度 特許委員会 委員長
平成15年度 弁理士倫理委員会 副委員長
平成16年度 弁理士倫理委員会 委員長
平成17年度 弁理士法改正特別委員会 副委員長
平成18年度 日本弁理士会副会長
平成19年度 例規改正特別委員会 委員長
平成20年度 弁理士制度110周年記念事業準備委員会 副委員長
平成20年度～平成21年度 弁理士制度110周年記念事業実行委員会 副委員長
平成22年度 役員制度検討委員会 副委員長
平成23年度 弁理士法改正委員会 委員長
平成24年度 継続研修履修状況管理委員会 副委員長
平成24年度 コンプライアンス委員会 副委員長
平成24年度 次年度人事検討委員会 副委員長
平成25年度～平成26年度 弁理士法改正委員会 副委員長
平成27年度～平成28年度 日本弁理士会会長
平成27年度～平成28年度 登録審査会 会長
平成30年度～令和3年度 中央知的財産研究所 所長
平成30年度 弁理士制度120周年記念事業準備委員会 委員長
平成31年度～令和元年度 弁理士制度120周年記念事業実行委員会 委員長

公職

平成27年度～平成28年度 産業構造審議会専門委員
平成28年度 知的財産戦略本部検証・評価・企画委員会 委員

	令和 5 年度～令和 7 年度 弁理士企業年金基金 理事長
懇談会等	平成 30 年 定期総会 総会議長 令和 2 年 定期総会 総会議長 令和 3 年 第 2 回臨時総会 総会議長 令和 3 年 第 3 回臨時総会 総会議長 令和 5 年 定期総会 総会議長 令和 7 年 定期総会 総会議長
賞	平成 10 年 弁理士会特別功労表彰 平成 19 年 日本弁理士会特別功労表彰 平成 21 年 弁理士制度 110 周年記念式典特別功労者表彰 平成 23 年 日本弁理士会特別功労表彰 平成 25 年 日本弁理士会特別功労表彰 平成 29 年 日本弁理士会特別功労表彰 平成 29 年 日本弁理士会永年功労表彰 令和 元年 日本弁理士会特別功労表彰 令和 元年 弁理士制度 120 周年記念式典特別功労者表彰 令和 2 年 日本弁理士会特別功労表彰 令和 3 年 日本弁理士会特別功労表彰 令和 6 年 日本弁理士会特別功労表彰
受章に浴して	令和 8 年春の叙勲の栄に浴し、身に余る光栄です。これまで支えて下さった多くの方々に深く感謝を申し上げます。 昭和 57 年に企業から特許事務所に転職し、最初の勤務先である鈴江内外国特許事務所では、特許実務について一から徹底的に叩き込まれました。ワープロ、PC 等がまだ普及していない手書きの時代でした。この時代に経験したことが、今の自分の礎となっています。指導して頂いた諸先輩方には頭の下がる思いです。 平成 18 年度に谷義一会長の下で副会長に就任したときは、弁理士法改正の担当でした。実務修習制度の導入等、大幅な制度変更を伴う改正でした。特許庁とも頻繁に議論を交わし、法律改正するために何が必要なのかを勉強させて頂きました。 平成 27 年度～28 年度に会長に就任したときには、知財経営支援による弁理士の活躍の場の拡大を政策の柱に据え、弁理士知財キャラバンや知的財産経営センター創設に注力しました。最高の仲間を支えられた 2 年間でした。 弁理士生活 40 年を超え、仕事や会務を通じて多くの仲間と出会い、支えられながら事務所経営や公務を継続できたこと、その結果として叙勲の栄に浴したことは、私にとって本当に幸せなことでした。支えてくれた多くの仲間、私を生み育ててくれた両親、そばで支えてくれた妻、希望を与えてくれた子供たちに改めて深く感謝いたします。 これからも力の続く限り、自分の責務を全うして行きたいと思っています。



旭日双光章（弁理士業務功労）

わた なべ たか ふみ
渡 邊 隆 文

学歴・職歴

昭和 48 年 東京理科大学理工学部機械工学科卒業
昭和 48 年 株式会社 JTEKT（旧光洋精工株式会社）勤務
昭和 55 年 弁理士法人あい特許事務所（旧亀井特許事務所）勤務
平成 6 年～現在 弁理士法人サンクレスト国際特許事務所（旧渡邊特許事務所）

弁理士会歴

昭和 60 年 弁理士登録（9270）
平成 10 年度 近畿支部 幹事
平成 11 年度～平成 12 年度 弁理士会常議員
平成 18 年度 産業競争力推進委員会 副委員長
平成 23 年度 例規委員会 副委員長
平成 25 年度 近畿支部 副支部長
平成 29 年度 日本弁理士会執行理事
平成 30 年度 日本弁理士会副会長
令和 6 年度～令和 7 年度 日本弁理士会常議員

賞

平成 13 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 23 年 日本弁理士会永年功労表彰
令和 元年 日本弁理士会特別功労表彰
令和 元年 弁理士制度 120 周年記念式典特別功労者表彰

受章に浴して

令和 8 年春の叙勲の榮に浴し、身に余る光栄であると存じます。これもひとえに日本弁理士会をはじめとする皆様方のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。故亀井弘勝先生とのご縁で、知財に関する業務や弁理士としての心構え等を幅広く学ばせて頂いたことが、現在でも弁理士として活動する上で支えになっております。特に弁理士会の会務に参加することが、弁理士会の発展につながり、ひいては弁理士の地位向上につながるとのお話は、口を酸っぱくして語っておられました。早いもので昭和 60 年の弁理士登録から 40 年が経過しました。この間、弁理士会の様々な委員会を経験させて頂きました。この経験は、その後拝命されました執行理事及び副会長の業務を遂行する上で大変役に立ちました。また、神戸で特許事務所を開設してから 1 年も経たないうちに、阪神・淡路大震災に遭遇しました。当時は、現在の兵庫地区会のような地域組織が存在しませんでしたので、兵庫において弁理士相互の連絡がとれない状況が長期間続きました。このことから、兵庫独自の組織を設立する必要があることを痛感し、発起人を募って兵庫地区会を設立するために奔走したことが思い出されます。このような経緯で設立された兵庫地区会ですが、地域に密着した活動を通して、地元にも多大な貢献を継続的になされていますので喜ばしい限りです。今後は、この受章に恥じないように、より一層精進してまいりたいと考えておりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



瑞宝小綬章（経済産業行政事務功労）

きた むら あき ひろ
北 村 明 弘

学歴・職歴

昭和 53 年 名古屋工業大学金属工学科卒業
昭和 55 年 東北大学工学研究科前期課程（金属材料工学専攻）修了
昭和 55 年 特許庁入庁
昭和 59 年 審査第四部審査官（金属）
昭和 60 年 資源エネルギー庁（公益事業部原子力発電安全管理課）
平成 7 年 審判部審判官（第 21 部門：電力）
平成 16 年 審査第三部審査監理官（環境化学）
平成 17 年 審判部審判長（第 18 部門：金属加工）
平成 17 年 知的財産高等裁判所調査官
平成 20 年 審判部審判長（訟務室）
平成 23 年 審判部部門長（第 18 部門）
平成 24 年 特許庁退官
（現在） 弁理士法人正林国際特許商標事務所

弁理士会歴

平成 24 年 弁理士登録（18292）

受章に浴して

令和 8 年春の叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。皆様方のご指導ご鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

特許庁では、化学分野と電気分野において審査・審判業務に従事し、各技術分野での知見や判断を培うことができました。特許庁内の特許情報管理に関する業務にも従事し、特許分類や F タームの整備に関与しました。また、裁判所では、調査官として知財案件の調査業務に従事し、その後の特許庁において審決案件の訟務に携わりました。これらの経験は、審査・審判業務をさらに理解することに活かされたと思います。

これまで様々な部署で多くの方々にお世話になり知財に関する仕事をさせていただいたことは、思い出深いものであり、心より感謝いたします。特許庁退官後は弁理士の仕事をしております。これからも知財制度の発展に貢献できるよう努めて参ります。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



瑞宝小綬章（経済産業行政事務功労）

わた なべ ひとし
渡 辺 仁

学歴・職歴

昭和 57 年 東京大学農学系大学院修士課程修了
昭和 57 年 特許庁入庁
昭和 61 年 審査第 4 部審査官（食品加工）
昭和 61 年 総務部国際課
平成 元 年 科学技術庁研究開発局宇宙企画課
平成 3 年 米国ジョージワシントン大学（留学）
平成 5 年 総務部国際課
平成 6 年 外務省在ジュネーヴ国際機関代表部一等書記官
平成 9 年 総務部特許情報課
平成 11 年 総務部総務課特許管理企画官
平成 12 年 審判部審判課審判企画室長
平成 13 年 総務部国際課多角的交渉対策室長
平成 17 年 特許審査第三部審査長（高分子）
平成 19 年 特許審査第三部上席審査長（医療）
平成 20 年 審判部審判長（24 部門）
平成 22 年 独立行政法人工業所有権情報・研修館 人材開発統括官
平成 22 年 早稲田大学法科大学院客員教授（～平成 25 年）
平成 24 年 審判部部門長（24 部門）
平成 25 年 特許庁退職
平成 25 年 正林国際特許商標事務所
（現在） 渡辺国際特許事務所

弁理士会歴

平成 25 年 弁理士登録（19244）
令和 2 年度 日本弁理士会執行理事

公職

平成 27 年 農林水産省 民間部門農林水産研究開発功績表彰選考委員

受章に浴して

令和 8 年春の叙勲の荣誉に浴し、身に余る光栄に存じます。特許庁、日本弁理士会をはじめとする関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

特許庁在職中は、化学分野、特に食品、医薬、高分子の審査・審判の業務に従事いたしました。その間に、WIPO 事務局長選挙、医薬品アクセス、特許電子図書館の創立、研修・人材育成など多岐にわたる業務に携わる機会をいただきました。特に、弁理士法改正に際して、日本弁理士会の当時の役員の方々を含めて、多くの弁理士の先生と議論をさせていただいたことは得難い経験となりました。さらに、早稲田大学法科大学院にて特許法を教える機会も与えていただき、自分自身の勉強になると共に、知財制度を深く知るための貴重な経験を積むことができました。

現在は、こうした経験を生かして、弁理士として主として外国からの出願、鑑定、特許異議申立てなどを担当しています。これからも、知財制度の発展に少しでも貢献できればと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。